

校外学習。

金曜日、あいにくの天気の中でしたが、常楽寺さんの見学に行っていました。美術館の学芸員さんの説明をお聞きしながら、ご本尊や、墨絵で書かれた本堂の襖絵、境内にある重文・多宝塔、そして美術館の数々の収蔵品を見学してきました。ちょうど社会の歴史で、室町時代の画家・雪舟について学習しているのですが、その雪舟の生い立ちの中に、「2年ほど中国に渡って墨絵を学んだ」という記述があります。今回のお話の中で、「近年では逆に中国の画家たちが、雪舟の技法を学びに日本にやってくる」というお話があり、とても驚きました。時間と海を越えて、文化の交流や発展が続いているんですね。



重文・石造多宝塔。1262年の建立だそうです。みんなの歴史学習に重ねると、元の襲来の少し前あたりですね。



本堂の襖絵を描いた中国の画家、溥(フー)さんの企画展。本物の水墨画を間近に生で見るいい機会になりました。



収蔵品の中で、歴史好きな子たちが驚いた、徳川家康直筆の「南無阿弥陀仏」(左)。真ん中は、お土産にいただいた、今年の干支「寅」の缶バッジ。右は、別の日に撮影した「寅展」のようす。この「寅」の字は!? 常楽寺の半田さんのご厚意で実施することができたこの企画。大変貴重な機会をありがとうございました。みんなにとって、とてもよい勉強になりました。